



祖父と母に感謝。

文部科学大臣奨励賞受賞



「2学期の終業式に、みんなの前で受賞の発表があり、びっくりしました。突然だったので、その時はよくわからなかったけど、家に帰ってお母さんから受賞の話をもう一度聞いて、とてもうれしくなりました」と照れ笑いしながら話す、御船6年の黒岩愛さん(6丁目)。全国から約134万点の応募があった、第57回JA共済全国小・中学生書道コンクール半紙の部で、文部科学大臣奨励賞を受賞し、2月7日に東京都内で表彰式が行われました。小学6年生の課題は「交通安全」。審査員からは「一点一画の筆遣いがどっしりと落ち着いている」と講評されました。作品は夏休みの宿題で、多いときには1日50枚書いて練習しました。



黒岩さんが書道を始めたのは4歳くらい。書道の先生は、祖父・伊藤緑石さんと母・恵美さん。「書道は、がんばれば、少しずつ字が上手になっていくことが楽しい。受賞できたのは、書道を教えてくれた、祖父と母のおかげだと思っています。来年も受賞できるようがんばります」と笑顔で抱負を語りました。

シンボルロード「交通安全」や「化石」がらみ

2月14日、ふれあい広場に新しく設置されたカルカドントサウルスと、シンボルロードに設置された化石レプリカの除幕式が行われました。除幕式には、若葉保育園とみどりの里の園児たちなど約50人が参加。山本孝二町長、増永信介教育長と園児たちによってカルカドントサウルスの除幕が行われました。約900坪のシンボルロードに設置された化石レプリカは12個あり、国道443号の交差点から古い順に設置され、設置されている距離が年代の長さを表しています。また、シンボルロードと中央線の交差点には、ヴェロキラプトル、エルリコサウルス、アーケオルニトミムスの3体が設置されています。カルカドントサウルスが設置されている「ふれあい広場」は4月1日の午後オープン予定です。



10月18日の「統計の日」を記念して農林水産省が実施している、農業経営統計調査に協力する、麻井高治さん(浅の敷)に、林芳正農林水産大臣から感謝状が贈られました。麻井さんは、妻リ子さん、息子・誠治さん、息子の妻・裕美子さんの4人で、繁殖と肥育の一貫経営を行い、孫の春陽ちゃん、健将くん、七聖ちゃん3人が、学校や保育園が休みの時には小屋の掃除などを手伝い、家族全員で畜産業を営んでいます。「畜産業は、年々営む人が減ってきている。統計調査を6年も続けることができたのは、家族みんなが協力してくれたおかげ。調査では、毎日4人分の作業日報を記録したり、現金の出し入れを記録したり大変です

家族みんなで受賞。

農林水産大臣から感謝状



が、申告の時に手が掛からず、作業日報を見て作業の見直しができただけ、調査をよかったですと思う。今後は、少しずつ規模を拡大しながらも、一頭一頭細かく管理していきたい。これからも統計調査をがんばります」と笑顔で話しました。



ティラノサウルスが新館へ引っ越し

2月13日、恐竜博物館前のティラノサウルスが、4月27日にオープンする新館へ引っ越ししました。ティラノサウルスは、平成14年に設置。強化プラスチック製で、全長約10メートル、高さ約3.5メートル、重さ約1トンの引越は、雨の中行われ、クレーン車や大型トラックなどを使い、約2時間かけて新館へ引っ越ししました。新館へ移動したティラノサウルスは、これから新恐竜博物館の玄関横で、来館者を出迎えます。